

### 3. 海外からのホメオパシー療法の推奨文

JPHMA と由井寅子会長の活動について

※アサートン卿より JPHMA と由井寅子会長へのコメントを紹介。



英国貴族院 英国国民健康保険補完医療課

Aaron Ward-Atherton 卿 (アーロン・ワード・アサートン卿)

日本ホメオパシー医学協会の創立10周年おめでとうございます。由井寅子先生が、ホメオパシーの分野において、日本だけでなく、国際的に素晴らしい仕事をされたことをお喜び申し上げます。

皆さま、ホメオパシーの同僚である日本ホメオパシー医学協会のコンGRESSにお招き頂き、祝辞を述べるために招待頂いたことを大変光栄に思います。私は、リバプールの北部に住んでおりますが、リバプールはビートルズで有名で有名だけでなく、ホメオパシーのレメディ―Pyrogen がドライスティール医師により 1875 年に発見された町でもあるのです。

ドライスティール医師の仕事も、ホメオパシーの偉大な先輩、天才サミュエル・ハーネマンが世界に残した偉大な実績の存在なしにはあり得なかったでしょう。皆さんもご存じのようにハーネマン医師は、ドイツのマイセン、当時はサクソニー北部と呼ばれていました、で生まれました。

サミュエル・ハーネマンは、1755年から1843年の間を生き、その間、世界でも最も有名な治療家の1人となりました。この時代の医療は、瀉血、または水銀のような有毒な重金属を投与して患っている人を治そうとしていました。ハーネマンが、病気に苦しんでいる人に異なった見解をとれたには、彼自身の観察を通してです。彼は最初に China の樹皮を作用を観察し、その症状がマラリアにいかに関係しているかに気づきました。

そしてさらなるリサーチを重ね、この物質によって引き起こされる症状にマッチするマラリアという重い疾患を、治療できることに気づきました。ハーネマンは、こう描写しています。「似たものにたいして似たもので戦え」彼はこのようにも言いました。どの効果のある薬物もその疾患そのものようなものを、人間の体に引き起こす。

そしてその薬物の特長がより強ければ強いほど、その疾患はより特徴的で顕著で激しく現れる。そして私たちは自然に倣い、併発疾患としての慢性疾患を治すべきである。特にそれが慢性ならば、できるだけ類似的な形で慢性疾患を引き起こすことのできるクスリでなすべきである。それが最も似ていることが好ましい。そして、過去の疾患は治るであろう。「似たものにたいして似たもの

で戦え！」。ハーネマンが研究を続けることにしたが、場合、体自身の治癒能力を助けることができるホメオパシーレメディを展開していくのにはそんなに時間はかかりませんでした。短期間の間にホメオパシーはヨーロッパの多くの地域に広がり、最後には、ハーネマンの治療法をきき、ハーネマンのもとで学んだフレデリック・クイーン医師によって、イギリスにもたらされました。

フレデリック・クイーン医師は、ハーネマンのもとでドイツにわたり勉強しました最初の英国人ホメオパスであります。クイーン医師はホメオパシー治療を学んだ後、1832年にロンドンでホメオパシー治療を始めました。彼のもとには、すぐに多くの患者が集まり、その中で、彼の医学技術はヨーロッパの多くの王室にも採用されました。

1854年にロンドンではひどいコレラの流行があり、何千人もの人がこの流行病に倒れました。実際、ハーネマン医師は、ドイツに旅行していたイギリス同僚にこの病気にどう対処したらよいかアドバイスを求められていました。ハーネマンは、コレラに対する非常によい対応を伝えることができました。これは英国政府の資料として保管されているものですが、当時、他の医師の方法によって救われた人数よりも、ホメオパシーによって救われた人の人数の方が多かったというように記録されています。ヨーロッパでのホメオパシーの歴史をかいつまんでお話しましたが、それはホメオパシーを学んだ1人の英国医師が素晴らしい力を自分の祖国に持ってこれることを伝えたかったからです。

1852年に起こったコレラの流行病の際にもホメオパシーが何千人もの人の命を救った事実についても記録されています。

そして、日本でも似たような状況だったのではないかと思います。ホメオパシーというすばらしい治療方法については全く知られていなかったのではないかと思います。ここ日本でも、皆さんは由井寅子ホメオパシー博士がロンドンにおいてホメオパシーで治療が成功した経験を通して、自分自身がホメオパシードクターになろうと触発されて勉強し、そして日本に持たられました。彼女自身も体感した上で、その治癒力のすばらしさに感動し熱意を持って行動しました。彼女はトップレベルのホメオパスから訓練を受け、現在では、彼女自身が国際的にホメオパスのエキスパートとして活躍しております。そして彼女が書いた本、世界中の多くのホメオパシー大学で利用されている大変経緯を払われている本があります。

私は由井ホメオパシー博士が、英国にホメオパシーをもたらし、多くの命を救ったクイーン医師のように思っております。これは日本において起こっていることです。彼女のビジョンが、このすばらしい療法を日本にもたらし、彼女の技能をもって日本に巻起している現実です。そして彼女は今日ここにいる多くの同僚の皆さまとともに、ホメオパシーの方法をもって日本で苦しむ多くの人々を救う方法を示しています。去年アラブ首長国連邦ドバイで行われた第2回ホメオパシー国際カンファレンスで彼女の講義を拝聴いたしました。わたしは、彼女のケース発表で、自閉症やアトピーなどの困難なケースを大変上手に治療されていることに大変感動を覚えました。

あまりにもその結果が印象的だったので秘書に伝え、その本を取り寄せるようお願いし、その素晴らしい結果を読みました。

わたしたちは、このような人物が日本ホメオパシー医学協会の会長として存在することに敬意を示すべきであります。そしてハーネマンのその精神をこの国にもたらしている現実についても感謝すべきです。またこの素晴らしい治癒の芸術ともいわれるものにたいして、ここにお越しになっている皆さんとともにこの気持ちをシェアし、またここにお越しになった全員に賛美を表したいと思えます。また私もさらにホメオパシーの勉強を続けていくことに対し勇気づけられました。貴方がたは多くの苦しんでいる人を助け、多くの方々の命を救うことができると思います。このユニークな療法を続けることを願い、皆さまのホメオパスとしての成功をお祈りしております。

Aaron Ward-Atherton 卿 (アーロン・ワード・アサートン卿) 略歴

アーロン・ケネス・ウォード-アサートンは、ミッドランド西に生まれた。バーミンガム市で3歳以上に渡る、ゴールドスミスマスターであるモーゼス・アサートンとキャロライン・ウォードの孫。2003年、Witley&Hurcott ウスター州の領主となった。この称号は、ダッドリー伯爵ライト・アナラブル、ウィリアム・ハンブル・ディビッド・ウォードによって支配されていた。ケネスは、バーミンガムとリバプールで教育をうけ、1978~1983年は、ホメオパシーを学んだ。そこでは、ノーベル賞候補シュツツガルトの Prof Reinhold Voll MD MSc やエリザベス女王の治療者となる Dr. Marjorie Blackie もいた。彼は、2002年以來、アルカプトン尿症協会のパトロン。1993年には、ランカシャー中央大学のCDC委員会会員で、補完医療の最初の学位を開始する助けとなった。1995年は、サルフォード大学で中国医学の学位をアドバイスし、それ以來、大学の通例カリキュラムの一部となっている。2005年以來、マンチェスターのクリスティー病院NHSにおいて、補完療法ユニットのパトロンをしており、2007年3月は、ウェールズ王子(チャールズ皇太子)とコーウォール公爵夫人(カミラ夫人)の訪問時、その部署の代表となった。彼はまた、心理学カウンスル、ライム病アクショントラストのパトロンで、つい最近まで、NHS公認理学療法士の鍼灸協会会長だった。1996年以來、世界的な医学出版社であるElsevierの編集委員会メンバー。現在は、英国内の鍼灸とハーブ医学の国家規制に対する推奨を準備する保健運営委員会メンバー。2007年3月、David Tredinnick MPと世界保健機構の統括部長であるDr. David Heymanと共に、ロンドンのThe Royal College of Physicians(王立治療家学院)において、中国医学の初の国際コンファレンスの会長を務めた。8月には、アラブ首長国連邦の政府サポートと共に、ドバイで、RCH UKの国際ホメオパシー医学コンファレンスの会長を務めた。彼は、活発な資金調達者で、多数のチャリティーや大儀のサポーター。特に保健関連の団体の認知度を高める助けをしている。彼の血筋は、貴族院の委員会副会長だったThe Lord Cawley of Prestwichの3番目の男爵、アメリカの女優、Bette Davisを含む。